

2019 年度 都立府中東高校 BOXING部

●2019. 11. 9 朝鮮大学校遠征



ーから始まり、全体でのマスボクシング、ミット等の合同練習を行いました。

女子の星野佳亜奈はこの日はスパーを行わず、マスボクシングとミット等の合同練習のみの参加となりました。

よくお世話になる日体大の学生もそうですが、スパーの後のマスや合同練習では大学生が、丁寧に本校の部員に教えてくれます。マスボクシングでは実力差が大きい場合でも、恐怖感を与えるようなことは一切なく声をかけてくれるが、教えながらマスボクシングをしてくれます。

朝鮮大学の任コーチは東京朝鮮高級学校から朝鮮大学と進学し、国体では東京都チームの主将として活躍した選手です。任コーチもマスで空いている選手やマスボクシング後の合同練習時には本校の部員に率先して丁寧にミットなどをして下さいました。ありがたいことです。

前週3日の朝鮮高校遠征の時に、東京朝鮮高級学校金先生からお誘いいただき、小平市にある朝鮮大学校に伺わせていただきました。

朝鮮大学ボクシング部は関東大学3部に所属し、全国の在日朝鮮高級学校ボクシング部で活躍した選手を中心に活動しており、朝鮮大学でボクシングを始めた選手も活躍しています。

当日は朝鮮大学生や朝鮮高校の選手と2分3Rのスパー



堀江



吉野



芦川



末舂



山中



萩原

この日のスパーは前週の朝鮮高校でのスパーよりも出入りや前に出ることが出来た部員もいましたが、前週の朝鮮高校でのスパーと同様、全体を通じてオフェンス面に課題がみられました。しかし上手な大学生が相手に前に出られないことも要因として考えられます。翌日は神奈川県浅野高校に出向き、高校生と手を合わせるの、そこにつながる内容であればよいと思います。

翌日の浅野高校遠征で、高校生相手に今回までのスパーの内容をどれだけ活かせるか、楽しい部分でもあります。



朝鮮大学、朝鮮高校のみなさん、ありがとうございました！